

ふくい トレイル マップ SATOYAMA

コースの見どころや周辺の観光情報はルートに沿って、番号順に紹介しています。地図面に写真の位置を表示しています。

コースの見どころや周辺の観光情報はルートに沿って、番号順に紹介しています。地図面に写真の位置を表示しています。

3.418 atoyamaトレイルコース33コースガイドマップ 全3巻

- 越前海岸コース
- 越前中一府コース
- わが三万歩コース

QRコード

トレイル参加者へのお願いと注意事項

- トレイルコースの案内看板は、必ず見守りをお願いします。
- トレイルコースの案内看板は、必ず見守りをお願いします。
- トレイルコースの案内看板は、必ず見守りをお願いします。

コース上の見どころや周辺の観光情報はルートに沿って、番号順に紹介しています。地図面に写真の位置を表示しています。

- 1-2 コース上の見どころ
- 3-4 コース付近の見どころ・体験施設
- 5 展望ポイント
- 6 寄り道ポイント
- 7 休憩ポイント
- 8 買い物ポイント



梨ノ木峠の地蔵

ここからは、南越前町河野にのっかって下り坂が始まります。地蔵の反対側には、林の石があります。



弁慶の足跡

弁慶のものとして伝えられている大きな足跡が残っています。



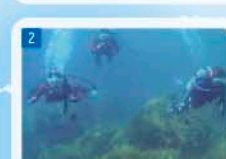
お題目岩

「南越前法華堂」と岩崎山頂にあるお題目岩。クワ(三ノ木)を刻むため、河野町河野山頂上から入る道のこととされています。



下長谷の洞窟

明治2年(1837年)の金崎城築城の際、祝詞神代の特産物である白根を小舟に乗せてこままで運り、洞窟の中にかくまったと伝えられています。



南越前ダイビングパーク

南越前町河野にあるダイビングパーク。美しい海岸線と、下長谷の洞窟の自然環境が、ダイビングを楽しむのに最適な場所です。



シーサイドパーク

美しい日本海を望みながら芝生広場や噴水広場を散策でき、休憩にも最適です。



府中馬借街道起点

越前市河野町



馬の水飲み場

大がけの坂に水を飲む馬が一休みさせた場所として建てられており、現在お湯の水が見られます。



府中馬借街道終点

高市町下中津原町



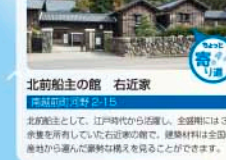
旧問屋前の地蔵

問屋をつかさどった石問屋の前の地蔵です。この付近には当時、問屋場があったと知られています。



府中馬借街道起点

越前市河野町



中村家住宅

河野町河野町1-66

商家から明治中期にかけて隆盛を極めた河野屋敷の邸宅で、歴史的な建築様式を数多く残しています。また、河野地区の石匠と伝説で、日本最大の大船主とされる河野屋敷に伝えています。



北前船主の館 右近家

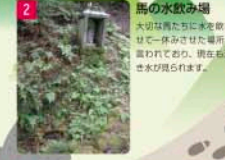
河野町河野町1-15-2

北前船主として、江戸時代から活躍し、全盛時には30余隻を所有していた石匠の邸宅で、建築材料は全部の産地から運んだ家財財宝を見ることが出来ます。



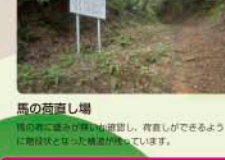
府中馬借街道起点

越前市河野町



馬の水飲み場

大がけの坂に水を飲む馬が一休みさせた場所として建てられており、現在お湯の水が見られます。



馬の荷直し場

頂の石に馬の荷を直し、荷直しができるように整備された場所が残っています。



複線の尾根道

馬の荷直しや上り下りの荷を分けるため、複線となった尾根沿いの道が残っています。



越前海岸の夕陽 (夫婦ぐり)

越前海岸から望む日本海の夕陽は、思わずため息が出るほどの美しさです。



越前海岸の夕陽 (夫婦ぐり)

越前海岸から望む日本海の夕陽は、思わずため息が出るほどの美しさです。



石造りアーチ橋 (桜橋)

明治14年の福井県誕生の後、南北と交通を結ぶ最初の事業として「春日野道」が開通されました。1橋はスチール製で、2橋は石造りのアーチ橋で、明治19年(1886年)の開通時に河野川に架けられたもので、北陸地方では珍しいものです。

START

撮影ポイント

撮影ポイント

撮影ポイント

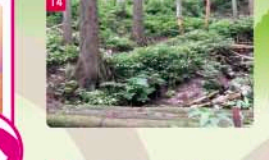
越前の古道めぐり

古来より物資の輸送に使用されてきた「府中馬借街道」や「まほろしの北陸道塩の道」の歴史街道を歩く、越前市および南越前町を通るトレイルコースです。昔に思いを馳せながら、何百年もの時を重ねて踏みぬめられた古道を歩きます。



ブナ林

美しいブナ林を歩きます。春には紅葉と季節ごとに様々な鳥を楽しむことができます。



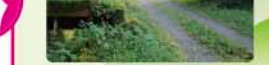
切り通し

ブナの原生林を通る「切り通し」は、数百年にもわたる人間の歩行によって削り取られてきたもので、深い林で約6mも通ります。



堀の湯登山道入口

南越前町河野



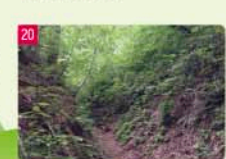
菅谷集落

河野川の上流、定宿山の東麓にあった集落です。現在は集落とつながっていませんが、当時の生活の様子を見ることが出来ます。



日野見台からの眺望

日野見台の名前のとおり、正真正正、越前富士とも呼ばれる日野山が望めます。



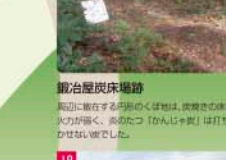
ホノケ山からの眺望

その昔、京谷や府中(現越前市)へ参る知らせのろし台があったことから、「火の氣」が「ホノケ」としてこの名前がつけられたとされています。山頂からは、周囲の山々が一望できます。



鍛冶屋炭床場跡

高山に積る雪の多い頃は、炭の焼成場です。火の煙が、炭のたき「煙」は「煙」に火がつかないでました。



休憩所

ホノケ山頂への登山道と堀の湯との分岐点に休憩所があります。ここからも美しい景色が望めます。

